

The Magic of ROTARY
ロータリーのマジック

2024～25 年度年度
国際ロータリー会長 Steohanie Urchick



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第1回例会 2024.7.1 (#2416)	舞の間
例会ホスト・紹介係	藤田会員
受付係 崎山会員	加賀会員
司会者 保科会員	ソングリーダー 木寅会員

卓話「新三役就任挨拶」

荒川 和幸 会長
細谷 彬 副会長
守屋 幸作 幹事

前回の報告

第32回例会 2024.6.10 (#2414)	悠の間
例会ホスト・紹介係	山田会員
受付係 保科会員	加賀会員
司会者 福田会員	ソングリーダー 乳井会員

卓話「ヴァイオリンの様々な魅力

～ベルリンでの経験談と演奏を通して～

ヴァイオリニスト 坪井 夏美氏
ピアニスト 大崎 由貴氏
紹介者 吉田会員

第33回例会 2024.6.17 (#2415)
最終例会 東京湾クルージング

会長報告

- 1) 本日は、大ホールでしか聞く事ができないほどのヴァイオリニストがお越しです。ベルリンでのお話などを伺いすばらしい演奏をお願いしております。のちほど宜しくお願いいたします
- 2) 早いもので、通常例会は今期最後となりました。来週の最終例会では皆様と1年間を振り返りたいと思っております。幹事報告

- 1) 次年度の各委員長は、活動計画書を今月中にはご提出下さい。
- 2) 今期の各委員長は業績報告書を7月15日までに御提出下さい。
- 3) 事務局から名簿用の個人データを送付いたしました。各自ご確認頂き、訂正、加筆などは20日までにお知らせ下さい
- 4) 来週のお昼間の例会は御座いません。17日は17:30から受け付けを始め、18:00には乗船開始、例会を行います。出港時間は決まっておりますので、時間厳守でお集まりください。
- 5) 6月24日の例会は休会です

例会記録

会員総数 59名 出席会員数 27名
ゲスト 5名 ビジター 0名
その他 7名 海外ビジター 0名
事務局 2名

ニコニコボックス

金田会員:所用が重なり最終例会・クルージングに残念ながら欠席です。今期も皆様お疲れ様でした。
齊藤会員:今年度最後の昼例会になります。1年間ありがとうございました。
杉山会員:新入会員歓迎会、ありがとうございました。今後とも宜しくお願いします。
内田会員:誕生日(5/10)

次回予告

第2回例会 2024.7.8 (#2417)
会場:舞の間
例会ホスト・紹介係 山本会員
受付係 浅野会員 乳井会員
司会者 保科会員
ソングリーダー 木寅会員

卓話「各委員長挨拶」

浅野職業奉仕委員長
吉田国際奉仕委員長
加賀青少年委員長
末竹プログラム委員長



S.アーテック RI 会長はロータリアンはプロジェクトを完了するたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、マジック(魔法)を生み出していると強調します

三役就任挨拶

荒川 和幸 会長

2024-25年度の会長を担当させて頂きます荒川和幸でございます。これからお話しさせて頂きます内容は、以前に活動計画の中でご提出しています会長所信と基本的に内容は同じです。

私が入会させて頂きましたのは2013年11月1日で、あっという間に10年以上が過ぎてしまいました。時間が経つのは本当に早いです。ロータリーの組織について今から理解を深めていきたいと思えます。

2019年からコロナの感染拡大でひとり親世帯が厳しい現実と直面しました。クラブからの資金を拠出して福島南ロータリークラブの関係の農家からお米を毎月購入して「しんぐるまざあず・ふおーらむ」に寄贈しています。また複数の企業にお声をかけて、数量が多い場合は「しんぐるまざあず・ふおーらむ」、小規模の場合はロータリー地域社会共同隊(RCC)である「NPO法人らいおんはーと」に食品を寄贈してもらっています。この活動を通じ、複数の企業のCSRやSDGs活動の担当の方々と情報交換・意見交換をしていて感じたことは、ロータリークラブは一生を通じて所属でき、個人を超えて奉仕を実践していくための信用を提供してくれる組織であるということです。

そのような組織であるということ踏まえて、やはり本年の方針は、「親睦を通じて奉仕を実践しましょう」とさせていただきます。当たり前で面白くはないのですが、この全体のアンブレラの下に具体的な活動に関しては、皆さんと協力して知恵を絞りながら面白さ、楽しさ、興味深さを加えていきたいと思えます。

この上位に来る国際ロータリークラブのテーマは、「ロータリーのマジック」です。逆説的な意味も含めていると思われませんが、活動しないと変化は起こせないよということ。

2580地区のガバナーの合言葉は「隔たりを取り除き、“ご縁”を大切に」です。「人間力を高めよう～「研鑽と親睦」そして奉仕」とのことです。

麹町ロータリークラブでは50周年の時に、100周年に向けてどうあるべきかということをもとめていただきました。「品格」ということがとても重要で、「利他」「高潔性」他が謳われています。その時の最後のフレーズが「あなたが一番、私が二番」というものです。この言葉とRI会長の「ロータリーのマジック」、地区のガバナーの「隔たりを取り除き、“ご縁”を大切に」という方針を自分なりに解釈して「お互いを尊重し、親睦を深め、情報を共有し、奉仕活動の実践を継続する」ということであると理解しました。

各委員会の活動は、いままでの方針の継続に+αで、自由にやって頂きたいと思えます。ロータリー活動は皆さんご自身が主役です。皆さんからのご指導、ご鞭撻を賜り皆さんの自由で闊達な参加によって一緒にロータリー活動を作っていければと考えています。一年間宜しくお願い致します。

守屋 幸作 幹事

2024-2025年度幹事を拝命しました守屋幸作です。東京麹町RCの皆様、これから1年間宜しくお願い致します。2020年8月に入会させて頂き、もうすぐ4年になります。私が入会した当初はコロナ禍で例会の開催もままならない状況でしたが、徐々にリアルの場での例会や親睦会が開催されるようになり、その場での先輩会員の皆様方との交流を通じてロータリーの奉仕の精神について日々勉強させて頂いております。今年で42歳とロータリアンとしてまだまだ未熟な身ではございますが、荒川会長の方針に従って円滑なクラブ運営ができるよう最大限努力させて頂きたく所存でございます。

今年度の東京麹町ロータリークラブの方針は「親睦を通じて奉仕を実践する」でございます。私としては若手のメンバーが例会や奉仕活動に参加しやすいような環境づくり(例会へのWeb参加の環境整備や小規模での親睦会開催など)に努め、自身は地区の研修や奉仕活動などにも可能な限り参加しその内容を例会などの場で皆様にフィードバックするなどして、東京麹町ロータリークラブ全体の活性化に繋げていける様に力を尽くしたいと考えております。

皆様ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

細谷 彬 副会長

副会長を拝命した細谷彬です。この歳で副会長、次年度の会長(の予定です)です。甚だ荷が重すぎますが、ご指名とあらば受けて立たなければと自分言い聞かせています。今年4月の地区研修協議会での話では、会長・幹事は多忙なので、副会長が会長・幹事に代わって各委員会の相談を受けることになっています。私は幹事をやっていません。健康管理委員長、ロータリー財団委員長の経験しかありませんので、皆さんから相談を受けても、その相談にはとてもおれそうにありません。

皆様のご指導によって副会長の職責を果たしていきたいと思っております。宜しくお願い致します。幸い荒川会長は高等学校の後輩にあたります。私のどんな失敗も多めに見て下さるものと思っています。会長！！よろしく申し上げます。

私の兄もロータリアンでした。実家に帰ると、ある期間ガバナー、ガバナーという言葉をよく耳にしました。その時はたぶん兄はガバナーをやっていたのではないのでしょうか。私の母が卓良(私の兄の名前)はロータリー、ロータリーと言って毎晩毎晩出かけ、ほとんど家にいないんだとよく言っていました。何のことはないロータリアンと麻雀をし、好意と友情を深めていたのです。その頃の私はロータリーは遊び人の集まりだと思っていました。

私は2015年(平成27年)3月1日杉原さんのご紹介で麴町ロータリークラブに入会させていただきました。その年の3月30日の観桜会でした。私と妻とで御出席の皆様お一人お一人にご挨拶申し上げました。年の違う人、職種の違う人がいらっしゃって、こういう人達となら楽しいだろーなーと思っていました。

麴町ロータリーに入会してから4年間の皆勤賞を頂きました。その後コロナの流行とともに例会がWEBとなり、私はWEBの操作がわからないので、何回か例会を休みました。ハイブリッドになってから今日まで休んでいません。麴町ロータリーの人達は皆紳士で、温かみがあり居心地が良いのが皆勤を続けられる理由の一つです。

私がロータリーを休まない理由にもう一つあります。それは妻が送り迎えしてくれることです。妻は小学校一年生から高校卒業するまで一回も学校を休んだことがないそうです。妻は学校を休むのは罪悪と考えている人で、子どもは3人いますが、3人とも中学校を卒業するまでは、ほとんど休んでいません。次男が高校二年生の時、腹が痛いと言って学校を休みました。妻は看護師に頼んで500CCの点滴注射を次男にしました。点滴が懲りたらしく2度と休むと言わなくなりました。私も今日は行くのが億劫だなと思ったり、また、まだ診察する患者が残っていても、「時間です。行きましょう」と言って、妻は車のキーを持って待っているのです。皆勤賞を貰えたのは妻のお陰でもあります。

私は昔から元旦になると新しい手帳の表紙の裏側に、おのれこそ/おのれによるべ/おのれをおきて/誰によるべぞ/よく調べし/おのれこそ/まこと得がたき/よるべをぞ得ん (一一法句経一)と書き、ロータリーに入会してからは、裏側の次のページに、1, 真実かどうか 2, 皆に公平か 3, 好意と友情を深めるか 4, 皆のためになるか を書き、時々見ては日々の糧にしています。

ロータリーの3大義務の一つに例会の出席があります。ロータリーの生活が例会に出て食事をし、卓話を聞いて帰るだけではもったいない気がします。よく噛んで食べる私にとっては例会での食事の時間が短く、なかなかお話ができません。好意と友情を深めるかとありますが例会だけではなかなか友情は深まらないと思います。私はできるだけロータリーの行事には出席し、お話をし、相手の人となりを知るようにしています。歓迎会ももう少し工夫していただけたらと思います。過日の歓迎会の日のことでした。お開きとなり会場の建物を出ようと玄関のほうに向かいました。出口がわからず戸惑っていたら、外から女の人が入ってきました。その人にタクシーに乗れる所に出るにはどっちに行ったらよいでしょうかと尋ねました。その女性は立ち止まり一瞬顔が引きつったようになり、なんか喋って、逃げるように行ってしまいました。誰も居ない薄暗いところで突然変な老人に声を掛けられたので、恐ろしくなったのでしょうか。でもその女の方は当日の歓迎会で歓迎された人の一人でした。何年前かに「私の歓迎会に出席してくれて有難う」と言われたことがあります。その時、ああ出てよかったと思い、それから歓迎会になるべく出ようとしています。緑内障のため足元が見えにくいこともあり、夜の外出は控えているのですが、これからも歓迎会など夜の会合にも出たいと思っています。

皆に公平か。患者さんが相手ですとなかなか公平の実践も大変です。義父の代には芸能人の人が良く来ていました。受付をしている義母は芸能人が来ると、他の患者さんが何人待っていようと、直ぐ診察室に通しました。私の代になってからは、どんな人が来院しても順番は守ってもらっています。それで芸能人はほとんど来なくなりました。どうしても早く診なければならぬ患者には、私が待合室に行き、待っている患者の了解を得てからにしています。87歳の男性の番の時、時間があり何もやることのないだろうと思い、お願いして急ぐ人を先に診させてもらおうとしたら、「俺は先が短いんだ」と怒られてしまいました。また、ある病院で妻が股関節の手術をしました。手術する何日か前に、外来で僕は手術をするだけで、手術を終わっても病室には行きませんよと言いました。手術前に心ばかりの贈り物をしました。行かないと言っていた先生が手術後も、それから退院するまで毎日病室に顔を見に来て下さいました。患者にとって医者が病室に顔を見せに来てくれるのが一番安心だと思うのです。私は大学卒業後、外科医として3年間病院勤務をしました。消化器外科です。たまに、手術の前後にお金を頂くことができました。頂いても頂かなくても手術そのものはしっかりやりましたが、術後病室に1回でいいところを2回行ったりとか、電話で済む指示を看護室に行ってから出すなど、いただいたことに対する御礼はしなくてはとっていました。皆に公平は難しいです。

皆さん頭(あたま) あかるく たのしく まえむきに で行きましょう。

二年間宜しくお願いいたします。